

# Governor's Monthly Letter

2011-'12年度  
国際ロータリー第2770地区



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



奉仕の精神で地球を抱きしめよう

2012.3  
第9号

ガバナー月信

## ◇春日部市旧倉松落

春日部地域は戦前より埼玉県の灌漑排水事業の中心的地域です。古くは江戸時代より水利の改修事業が行われ、特に大落古利根川を中心とした改修事業は大正から昭和初期にかけて盛んに行われました。倉松落の「落(おとし)」とは田んぼに溢れた水を排水するための川の名で、市内各所に「落」の名のついた河川があります。

国際ロータリー第2770地区  
ガバナー 三國 明

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックタワー東館1階  
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011  
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp



## 識字率向上月間に思う

2011-2012年度ガバナー 三國 明

今月は識字率向上月間です。識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算の出来ない人たちを救援するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存プログラムを通じて、識字率向上に取り組んでいます。

今回、国際ロータリーは、世界的な識字推進団体、国際読書協会と協力し合い、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを開発中です。未来の夢計画ではグローバル補助金などの対象として、6大重点分野の一つとなっております。

ユネスコによると、世界で9億人以上の人々は読み書きが出来ません。その三分の二は女性です。成人や子供に向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することが要請されています。

識字率向上プログラムは、単に女性や子供に読み書きを教えることではありません。特に女性または母親の識字率向上は、子供の識字率に好影響を与え、将来多様な価値観を持った教養ある人になり、その国の文化的、経済的発展に

寄与できる効果が大です。高い教養や技術を身につけることにより就職の機会が高まり、困窮ゆえに不道德なことをしたり、生活ゆえに確たる考えもなくテロ集団に入り込んだりする必要がなくなるのです。

開発途上国においては、今日テロの脅威にさらされ、また自らの意思に反して家族の生活のため、テロ部隊に就職したり、飢餓や難民生活を余儀なくされている人々が多くいます。このような人々に単に物資やお金を支援するよりも識字率向上のためのプログラムを継続的に推進するとともに、経済的に自立できるようにすることが必要と思われます。

多様な価値観を持った人々が多くなり、文化的な生活をするようになれば、バスコントロールも出来るようになるでしょう。世界人口が70億を超える現代に鑑みて、無秩序な人口増加に歯止めをかける必要があるわけです。すべての人が経済的に自立して文化的、衛生的生活ができるようになれば、世界の紛争解決や平和の推進に大きく貢献できるようになるでしょう。識字率向上こそは人々の幸福と世界平和の基礎であるといえましょう。各クラブにおいてはこの機会に他国のクラブと共同でグローバル補助金を使った、持続可能なプロジェクトを検討してみてください。地区の委員やRIのコーディネータの卓話を要請するのも有意義なことです。

### 『国際ロータリー第2770地区 バンコク大会』のご案内 ～田中作次RI会長エレクトを応援しましょう～

今回の国際大会開催地 バンコク、は「天使の都」と呼ばれ、水害の後遺症も全く無く活気に満ち溢れています。

5/8開催予定の『三國ガバナーご苦労さんと田中ガバナー・エレクト激励会』（ロイヤル・オーキッド・シェラトン・ホテル&タワーズ）の締め切りが3/15となっています。早めの登録・振込みをクラブでまとめて地区事務所をお願い致します。

又大会参加の為の大変お得な旅行コースをJTBで企画致しております。JTB関東法人営業川口支店（048-227-2503 土・日・祝日定休）にご用命、ご相談下さい。間もなく締め切らせて頂きます。この機会にバンコク大会に参加し、ロータリーの真の国際性をご満喫下さい。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 読み書きができるように（識字率向上）

地区管理運営部門委員長 篠原 唯史（浦和北東RC）



日本では、読み書きができるということは当たり前のことのように思われています。しかし、地球上には読み書きができない人たちがたくさんいます。読み書きができなければ、良い仕事を見つけることができず、貧しい暮らしを余儀なくされますが、そればかりではありません。例えば、薬の飲み方が書いてあっても読むことができないので、どのよう

に飲んだらいいのかわからないのです。ロータリーでは、全世界のすべての人たちが、読み書きができるよう、識字率が向上するように、さまざまな活動をしています。発展途上国のへき地の村に学校を建てたり、教科書や鉛筆、ノートなどを送ったりしています。文字が読めないのは子どもたちばかりではありません。成人、特に女性に、文字を理解できない人がたくさんいます。おかあさんが読み書きできるようになると、その子どもたちに教えることもできるし、家計を支えるための仕事に就くこともできるようになります。このような理由から、ロータリーでは、成人女性に対する教育も支援しています。

オーストラリアの原住民であるアボリジニの人たちに英語を教えるため、同国のリチャード・ウォーカー博士がCLE（Concerned Language Encounter）という言語教育法を開発しました。ウォーカー博士はロータリアン（ロータリークラブの会員）です。CLEというの



は、例えば、子どもたちなら画用紙からお面をつくったり、人形をつくったりという簡単な作業をしながら文字を教えます。成人の女性なら、料理や裁縫、手工芸といった実用的な、そして収入にも結びつくようなものを取り上げて、そういった作業をしながら文字を学んでいきます。楽しいこと、実益に結びつくようなこととともに文字を学ぶことができるので、途中で挫折する人が非常に少ないといわれています。また、費用も少なく、短い期間で学ぶことができます。したがって、多くの国のロータリアンたちは、この教育法を使って、多くの子どもたちや成人女性に文字を教えたり、先生の育成をしたりしています。文字が読めないと良い仕事に就くことができず、生活は貧しくなります。貧しいが故に、その子どもたちは学校に通うことができず、文字を覚えることもできません。そして、良い仕事を見つけることができず、貧しい暮らしを強いられます。こうした貧困の連鎖を断ち切るためにも、ロータリアンたちは、世界中のいろいろな地域で、すべての人たちが読み書きをできるよう、活動を続けています。

（ロータリージャパンホームページより）

## 2012-13年度 国際協議会に参加して

ガバナーエレクト 田中 徳尚

2012年1月15日（日）より6日間に渡って米サンディエゴにて開催されました国際協議会へ参加して参りました。会場であるハイアットホテルに着いたところ、田中作次RI会長エレクトをはじめ、松宮RI理事エレクト、研修リーダーの皆様が出揃ってお出迎え下さいました。その後、歓迎のご挨拶等がございましたが、田中作次RI会長エレクトが仰られた「低い目標を立てて達成を目指すより、高く目標を掲げ、その為に挑戦することが大切です」というお言葉が特に印象的でありました。翌日、2012-13年度のRIテーマ「奉仕を通じて平和を“Peace Through Service”」が発表され、会場は歓声と拍手が響き渡りました。これは正に、相互理解を通しての世界平和の実現というロータリーの究極の目的を一言で言い表した素晴らしいテーマです。

その後、33名の仲間と共に参加致しました研修は、非常に具体的で充実した内容であり、なすべきことがよく理解できました。特に、「RI戦略計画の実施」「世界平和フォーラムの支援」「増強」の3点を活動の重点項目と感じました。研修の合間には恒例のグランドマーチや国際祭りのタベが行われ、日本チームは花笠音頭を世界各国の皆様にご披露致しました。

協議会期間中は世界各国の様々な方々とコミュニケーションを取ることができ、特に、姉妹地区であります第3750地区の金ガバナーエレクトや、VTTで訪問予定の第3000地区KUMANANガバナーエレクトとも懇親を深めることができました。

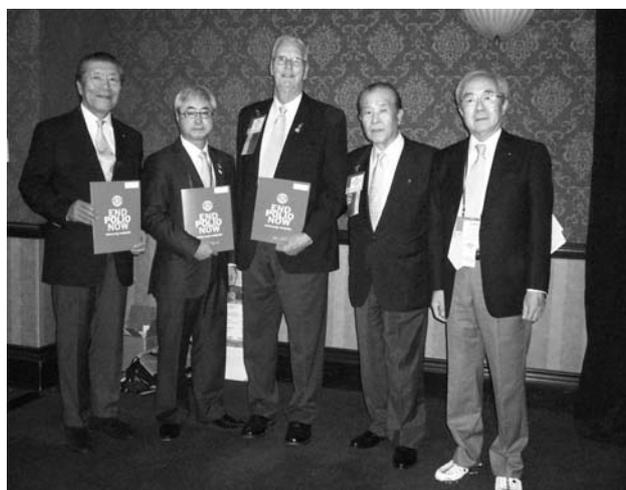
また、休憩時にはRIスタッフに声を掛けられ、テーマについてのインタビューを受けたところ、計らずともRIのホームページに載ってしまったというハプニングもございました。

幸い、お天気にも恵まれ充実した中でも快適な毎日を過ごすことができました。

送り出して頂きました地区の皆様にご感謝申し上げます、田中作次RI会長とともに、掲げられたテーマに沿った1年を送ることを誓い申し上げます、帰朝報告とさせていただきます。



姉妹地区の韓国第3750地区・金美泳ガバナーエレクトと共に本会議場所にて



小沢一彦財団管理委員よりお声掛け頂き、エンド・ポリオ・ナウ会議に参加しました



VTTが訪問しているインド第3000地区・KUMANANガバナーエレクトと共に



## 第23回地区年次大会を終えて

国際ロータリー第2770地区ローターアクト  
2011～2012年度 地区代表 河本 陽子

去る1月28日（土）、さいたま市文化センターにて、「国際ロータリー第2770地区ローターアクト第23回地区年次大会」が開催されました。さいたま市副市長 小林敏様（さいたま市長 清水勇人様代理）、三國ガバナーをはじめ、多くのロータリアンの皆様にご登録・ご出席を頂きまして、心より御礼申し上げます。

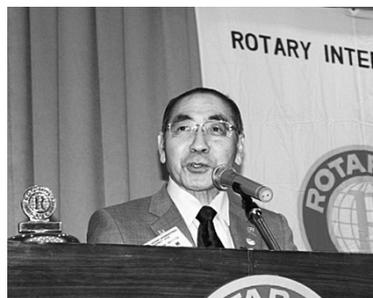
地区年次大会は年に一度、その年度の集大成として、活動報告や記念事業、ローターアクト間及びロータリアンの皆様との情報交換・親睦を深めることを目的に開催されます。

今年度の地区年次大会では「彩能開花✿」のテーマのもと、カラーテクニクについての基調講演や、地区・クラブ活動報告、クラブの最優秀例会を決定する投票会等をおこないました。

基調講演は、NPO法人日本カラーコーディネーター協会より谷貝葉月先生をお招きし、「カラーテクニク～ボランティア現場における色の使い方と自己戦略～」についてお話を頂きました。福祉施設で用いられる幸せや希望のイメージを与える色とその効果や、商品開発で戦略的に使用されている色について等、色の持つ力やその論拠、実践的な色の知識を学びました。また、自分に似合う色を知る「パーソナルカラーチェック」は大変好評で、今後の就職活動や営業に取り入れたいとのお声をたくさん頂き、企画を担当した実行委員会も喜んでおります。

このように、無事地区年次大会を開催できましたのも、日頃よりご指導頂いておりますロータリアンの皆様をはじめ、OB・OGの皆様、地区内ローターアクターの皆様のご支援によるものと深く感謝申し上げます。

地区年次大会を終え、今年度も残すところ5ヶ月余りとなりました。下半期におきましても、ローターアクト活動の更なる活性化に取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。



●今年度の当地区ローターアクト活動は、以下広報ブログで発信しています。ぜひご覧ください。

地区ローターアクト広報ブログ

<http://rotaract2770.cocolog-nifty.com/>

# IM 報告 第10グループ報告

第10グループガバナー補佐 邨田 茂

吉川市長戸張胤茂様、三郷市長木津雅晟様、松伏町長曾田重雄様、国際ロータリー第2770地区ガバナー三國明様、(財)R米山記念奨学会監事坂巻幸次様をはじめとするご来賓の方々のご臨席を賜り第10グループIMを開催できましたことに感謝申し上げます。

オープニングセレモニーを松伏高校吹奏楽部をお願いして式典が開催されました。

本年度のテーマは「世界の中の日本」と大きな題材ですが、私がロータリークラブに入会しグローバルなところを知りこのテーマに決めました。現在の日本では、大企業の社員採用で4分の3が海外で採用されたり社内公用語を英語

に変えたり生産を海外に求めたりとグローバルビジネスが増えてきています。私も3年間地区の米山記念奨学委員会に所属し、多くの留学生と知り合い彼らの素晴らしいところを目の当たりにし彼らの必要性を感じました。今回米山ホームカミング制度により崔善愛(チェソネ)さんに講演をいただき、また多くの米山関係者の方々にも参加を戴きました。第10グループの5クラブよりクラブ活動報告から素晴らしい奉仕活動の発表を戴き、無事IMが終了致しました。

本年度このIMにご尽力戴きましたクラブ関係者の皆様又このIMに参加頂きました皆様に心より感謝申し上げます。



# IM 報告 第8グループ報告 米山の新しい風

第8グループガバナー補佐 大野 光政 / IM実行委員長 新井 進

去る、1月28日(土) 越谷コミュニセンター(ポルティコホール) 点鐘午後4時30分ガバナー三國明様の「ロータリーに新風を」をというテーマの下、米山記念奨学事業に今どの様な風

が吹き始めているか? 越谷市長高橋努様の出席を賜り、東京米山友愛ロータリークラブの皆様の特参加を得、林芳会長の挨拶につづき、同ロータリークラブの



特別代表であり、第2750地区東京山の手西グループガバナー補佐関博子様より、「米山の新しい風をどう捉え支援するか」についての講演を戴いた。2010年2月国内初めての学友中心の東京米山友愛ロータリークラブの創立の背景、2750地区IMでの米山奨学会中国学友会会長の弁護士でもある姫軍さんの特別講演、昨年中国学友会総会が北京で第3回目が開催され、学友80人日本からも50人が参加し「中国友好のために……私たちの使命」と題して行われ、前

駐中国特命全権大使宮本氏による「アジアの未来と日中関係」と題し講演を行い、国同志の関係は民間の心と心が必要であると強調され、米山記念奨学会の重要性を再認識させられた。

各クラブの活動も発表され、昨秋日本音楽コンクールバイオリン部第1位東京藝術大学生の藤江扶紀さんとピアノ山中惇史さんによるアンサンブルも華を添え、4時間以上に亘るIMもほとんどの方が最後まで席を温め、楽しく新しい試みでの集まりでありました。



## IM報告

# 第5グループ報告

## 奉仕の第5部門は第5グループから ロータリーのタスキリレー

第5グループガバナー補佐 尾花 正明

2012年1月26日(木) 東武バンケットホール上尾に於いて三國明ガバナーをはじめ多くの御来賓及びロータリアン、そして現在までの新世代プログラム参加者の参加のもと、第5グループインターシティミーティングを開催いたしました。テーマを「奉仕の第5部門は第5グループから」と題し、新しく加わった新世代奉仕部門に重点を置いた内容と致しました。

基調講演では津田健三パストガバナーより「次世代に託すロータリアン」、そして森田武司パストガバナーより「新世代プログラムの現状」と題しご講演をいただきました。記念講演では茨城県立医療大学名誉教授の大田仁史様より「住民参加の介護予防」と題しご講演をいただきました。そして懇親会では各クラブのアピールタイムとして、現在までの新世代プログラム参



加者のスピーチを交えまして、参加した会員が最後まで新世代奉仕の重要性を肌で感じる事が出来た内容となりました。

結びに、資料の作成提出等各クラブの会長幹事をはじめ、実行委員会並びにご参加いただいた皆様に感謝を申し上げ報告と致します。



## IM報告 第9グループ報告

第9グループガバナー補佐 金杉 光左生

平成24年2月3日、浅草ビューホテルに於いて、ご来賓並びに会員令夫人のご出席を頂き、総数155名の開催でした。

行政からは八潮・草加両市長、2011～12ガバナー三國明様、2012～13ガバナー田中徳尚様。又、急遽ご出席頂きました2012～13国際ロータリー会長田中作次様、2011～12国際ロータリー研修リーダー中村靖治様。そしてピアノ演奏でご協力頂きましたガバナー事務所の林裕子様。ありがとうございました。

また、プログラムでは「ロータリーに思う事を」テーマに全ての会長がそれぞれの思い語って下さいました。記念講演では、狂言師 和泉元彌氏をお招きし、上演上の特徴・能舞の作りと生まれた言葉・狂言祝言小舞「福の神」を舞って頂きました。



ポールハリスの言葉に『この世界は常に変遷する。我々は変遷する世界と共に変遷する用意がなければならないであろう。ロータリー物語は幾度も書き換えられなければならないであろう。』があります。

三國ガバナーは「ロータリーに新風を」長年慣れ親しんだやり方を変えることは不安なものだが、良いと思ったことは恐れずにチャレンジしましょう！と言われました。

私は今まで地区役員として委員長を2回、部門委員長を2回務めさせていただきましたが、その経験の中で第9グループの活動状況の様々な評判を聞き、グループの一員として反省しなければならない点多々ありました。そんな折、ガバナー補佐のお話をいただきました。グループ内のクラブには会員減少に伴い、運営がまま

ならない現実がありました。どのクラブも会員の減少には危機感を抱き、増強で対応しようと努力を重ねていました。しかしながらその解決を見ることはできませんでした。

ところで、現クラブ会員身分の保全ともう一度ロータリアンとして希望を見出すためには、ロータリークラブとして適正な会員数の確保が第一条件であります。しかし、会員増強での確保には時間が足りない。そして判断いたしましたのが、合併及び新クラブの立ち上げ合流でした。国際ロータリークラブの細則で、同じ地区内の二つ以上のロータリークラブが単一のロータリークラブへの合併を国際ロータリー理事会に申請することを認めています。地理的に可能な場合、会員数20名未満のクラブは合併すべきである、とされています。

複数クラブが心機一転、原点に帰り適正な会員数のもとロータリー活動に意欲を持ち歩調を合わせて進んでいく事で、全てが継続されグループの大きな躍進になることでしょう。数合わせの合併、新クラブの立ち上げではありません。ロータリーを愛するがゆえに心から出た行動です。

そして、これからはロータリーについて勉強していきましょう。

知識を得れば、クラブに地力がつきます。地力がつけば会員増強・維持にも大きな力となります。過去と現在を見つめ直し未来に向かって進みましょう。そこには必ず繁栄があります。頑張ろう!! 自身のために! 組織の為に!



# IM報告 第1・第2グループ報告

第1グループガバナー補佐 鈴木 眞  
 第2グループガバナー補佐 大庭 秀夫

平成24年2月4日(土)、浦和ロイヤルパインズホテル4階ロイヤルクラウンに於いて、2011-12年度国際ロータリー第2770地区第1・第2グループ合同インターシティ・ミーティングを開催しました。

「友情と絆を深めよう」という今年度IMテーマの通り、総勢480余名のロータリアンが集い、三國ガバナー、清水さいたま市市長のご挨拶もいただくことができました。

今年度IMの第一部は「ロータリー講演会」。

講師は昨年大晦日に強敵を見事KOで下した、春日部市出身のWBA世界スーパーフェザー級チャンピオン内山高志氏。「心は折れない」というテーマで、ボクシングとの出会いからチャンピオンになるまで、何度もくじけそうな時期を乗り越えた感動的な体験をお話くださいました。

また、第二部「新春賀詞交換会」のアトラクションは、さいたま市出身の吉松まつ子ファミリーのコンサートを開催し楽しい時間を過ごすと共に会員相互の交流を計る事が出来ました。



## IM日程表

日程・時間	グループ	場 所
3/3 (土) 15:00~	第3G	ラフォーレ清水園
3/17 (土) 14:30~	第11G	ホテルグランドパレス塩釜
3/24 (土) 9:00~	第7G	蓮田 黒浜運動公園

### ●IMについて●

1912年今から100年前、サンフランシスコRC・オークランドRCが「湾を挟んでの愛のうたげ」と称して合同例会を開催し親交を深めた。そこから、現在のIMに発展したとされている。

第9グループガバナー補佐 金杉 光左生

## 先輩より



### 【クラブの活性化】に想う

パストガバナー 森田 武司

日本のロータリーの歴史に於いて、今ほど「クラブの活性化」が問われたことはありません。一昔前まで30人以下のクラブは、公然と「弱小クラブ」と呼ばれていました。以後25人以下が言われるようになり、それが20人以下になり、いつの間にか何も言われなくなりました。

かつて、日本のロータリアンの人数が約13万人と言われ、我が地区の最盛期の会員数は、実に4千人に数名足らずの勢いを記録しています。

2月の諮問委員会で確認された地区の現状は、2,500名を僅かに超える人数であり、最盛期に比べ約1,500人の減少という将に由々しき事態であります。

「栄枯盛衰は世のならい」

いつの時代に於いても、最高の栄華を極め、隆盛を誇った国家や組織でも、平穏な時代は長くは続かず、必ずいつの日か低迷期が訪れ、やがては衰退していくのが時代の摂理であります。しかしながら現在、国際ロータリーは107年目を迎え、世界の200の国と地域に約122万人のロータリアンを擁しており、アメリカと日本以外の国では確実に増加の傾向にあります。このような意味合いからも、日本のロータリーが単に衰退期を迎えたとは理解し難いものがあります。

日本経済の長引く不況は、我々ロータリアンのクラブ運営や奉仕活動に大きく影響しており、クラブ会員の減少に拍車をかけています。

2008年9月に発生したリーマンショックに加え、ギリシャに端を発したユーロ圏の財政危機、円高ドル安の為替の影響は、我が国の製造業にも大きな痛手を与えており、大手企業や中小企業の海外進出は、国内の空洞化を一層促進しています。

そして又、昨年3月11日の東日本大震災は、日本経済と我々ロータリアンの企業経営に大きなダメージを与えており、一段と厳しい状況の下にあります。

現在、我が地区でも総力を挙げて復興支援活動を展開していますが、そろそろ被災地の復興が本格化して、我々の仕事関係にも復興特需の様な神風が吹き、ロータリアンが元気を取り戻してくれる日を心から期待してやみません。

最近クラブ会員やロータリー仲間から良く聞く話は、仕事が無い、仕事があっても利幅が無い、とてもロータリーどころでは無いよ！と言う嘆きばかりです。

「クラブの活性化」とは？ 先ず活性化の意味を広辞苑で引きますと、

- ① 停滞している物事や組織に刺激を与え、その働き、反応を活発にすること。
- ② 沈滞していた機能が活発に働くようになること。また、そのようにすること。

とあります。一言でいえば「クラブを元気にすること」であります。

ロータリーは人材の宝庫であり、人との出会いが全てであります。CLPが目指す「効果的なクラブ」の第一項に「会員基盤を維持し増大する」と有ります。今こそ厳しい現状の打開のためにも、クラブ会員の総力を挙げて、会員一人ひとりが率先して会員増強を実践しなければなりません。

**先輩より****仲良しクラブからの脱皮を**

パストガバナー 飯野 雪男

100年余のロータリークラブの歴史の中でわが国のロータリークラブが直面しているクラブの活性化問題は、われわれロータリアンがロータリークラブも社会的存在であり、社会から生かされているということを忘れつつあることに由来するように思えてなりません。

わが国のこの戦後60年間ほど技術革新・産業構造の変化・人口構成の変化などなどが私たちのライフスタイル・価値観をも10年いや1年ひと昔のように激変させてきました。

それにも関わらず地域の産業構造や地域住民の生活スタイルを反映しない行政区域に縛られたクラブのテリトリー・それを反映した零細規模のクラブの増加・会員増強のみを念頭に置いての会費等の値下げ即クラブの財政難の促進・地域社会への人的、財政的アピール能力の低下・零細規模に所以するクラブ運営の仲良しクラブ化・地域社会からの会員およびクラブへの信頼や評価の相対的低下等々「貧すれば鈍するの悪循環」に陥っているのではないのでしょうか。

このような矛盾については会員の誰しもが感じており、タイミングとしてはわが国のロータリークラブは1歩後退2歩前進の1歩後退の時期に差しかかっており、量的には1歩後退するが質的には2歩前進を期した努力・行動によって地域社会からの信頼を勝ち取るべきではないのでしょうか。

具体的には地域社会と共生しその存在感を維持するためにこれまでの経緯などはすべて捨てて必要な各クラブの会員数・財政規模等においてそれなりの適正規模を確保することが第一歩ではないのでしょうか。そしてクラブ内に緊張感・競争状況を確保し、人材・財政的等でのゆとりを実現しようではないですか。

そしてすべての会員がロータリークラブの会員で良かったと実感できるようにしたいものです。

**後輩より**

平成22年12月8日入会／第3グループ

**メッセージ発信の重要性（クラブの活性化）**

鈴木 茂（大宮RC）

「2011年3月11日、未曾有の東日本大震災」、「2011年7月18日、なでしこジャパン2011ドイツ女子サッカーワールドカップ優勝」、一見、全く関わりの無い出来事のようにあるが、3月11日がなければ、7月18日はなかったかもしれない。

なでしこジャパンは、試合前ミーティングで被災状況を選手に見せ、試合終了後、「〇〇・・・」の横断幕をもってグラウンド一周、強いメッセージで意識高揚を図り、米国戦の奇跡的な決勝戦の勝利になった。

東北の被災地で、色々な取組みがメッセージの発信と共に展開されている。

絆・人とのつながり・思いやり・心遣い等々のメッセージで、ビックスターが、スポーツ選手が、学生ボランティアが・・・。

3月11日の復興は、特に福島は50年経過が必要、「奉仕」を役割としているロータリークラブとして、これらに特化したメッセージ発信が必要な時期ではないだろうか。

「次世代が幸福に暮らせる様に」・・・。

## 後輩より



平成21年10月20日入会 / 第11グループ

### クラブの活性化について

田村 芳弘 (川口東RC)

伝統ある川口東ロータリークラブに入会させて頂き、2年半近く過ぎました。諸先輩方、いろいろありがとうございます。ロータリーについて何も解らないまま、今回「クラブの活性化について」というテーマで原稿依頼を受けました。私の思った事を述べさせていただきます。

### 『 会 員 増 強 』

難しい事かもしれませんが、私が一番に思う事は、会員増強がクラブの活性化に繋がる事ではないでしょうか！

ただ単に会員増強するのではなく、何も解らない新会員への勉強会や親睦会などを行い、例会への出席を義務と考えず権利と理解して、例会には必ず出席し、解らない事柄は、例会終了後、先輩に質問、説明を受け、理解に努め、クラブ内の団結を強く持ち、ロータリー活動を行っていく事が、活性化に繋がると信じております。

会員増強は、会員1名が1名増強する努力をしようではありませんか！

これからも諸先輩方、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



## 「蓮田駅周辺清掃活動」を終えて

蓮田ロータリークラブ会長 波多野勝治  
幹事 岩崎 一隆  
社会奉仕委員長 黒須 雅行

平成24年1月29日(日) 寒さ厳しい朝、蓮田ロータリークラブの呼びかけで他4団体(蓮田市コミ協・蓮田松韻高校インターアクトクラブ・ボーイスカウト第1・3団・蓮田市少年サッカーチーム)の参加者約80名で蓮田駅周辺の清掃活動を行いました。

第7グループ深田ガバナー補佐の提唱「明日

を担う若者にロータリーを理解してもらい、一緒に奉仕活動を」で、蓮田ロータリークラブは清掃活動を通じての「奉仕の実践」を実行することができました。

参加者が協力し



あい、清掃用具使わず軍手だけのゴミ拾いでしたが、参加した特に子ども達の積極的な行動が印象的でした。約2時間(AM9:00~AM11:00)の清掃活動でしたが、今後も各団体ともより「絆」を深めて、蓮田ロータリークラブとしてサポートできればと考えております。



# 「バングラデシュでの貧困家庭の女性の職業訓練支援」活動報告

社会奉仕委員長 泉 英明 (大宮中央RC)

私どものクラブでは、今年度、認定財団法人国境なき子どもたちの活動を通してバングラデシュの貧困家庭を支援する活動を行いました。

支援にあたっては、昨年9月20日に国境なき子どもたち専務理事守谷季美枝様に例会にて、国境なき子どもたちの活動内容及びバングラデシュの現状の卓話を行って頂きました。

先日、支援金227,000円で購入したミシン等が届いたとの報告と共に現地協同組合でミシンを使う女性のうれしそうな笑顔の写真が送られてきました。

現地の協同組合ではこれまで、足踏み式ミシンで製作された製品を販売していたとのことで、製品の完成度が低く、販売価格も低く設定せざるを得ない状態だったようですが、今回の支援によって製品の品質が上がり、収入の増加が期待できるだろうとのことです。

また、職業訓練コース用の足踏みミシンを拡充することによって、より

多くの女性に職業訓練の場を提供できるようになるだろうとの話でした。

227,000円というさほど大きな支援金とは言えないものですが、これによって非常に価値のある支援ができたと思います。

国境なき子どもたちによりますと、今後の展開として職業訓練校の更なる拡充を計画しているとのことですので、また機会があったら支援していこうと思います。



① 電動ミシンの購入に喜ぶ共同組合のメンバー



② 購入した JUKI 社 (日本製) の電動ボタンホールミシン (中古ではあるが信頼性は抜群とのこと)



③④ 直線縫いミシン (同社製) 今回の支援により市場での競争力が向上し、安定した収入が期待できる。

※この他足踏み式ミシン 5台 (計8台) を導入

## 文庫通信 (293号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

### ◆ 新着の文献から ◆

- ◎「例会出席して、何を学ぶの？」 亀井義弘 2011 4p (我が心の原点、ロータリー)
- ◎「ロータリークラブの弱体化と対応策」 関口宗男 他編 2011 2p (ロータリーの軌跡と展望及びロータリーの基本についての解説)
- ◎「SAAについて その1~4」 深川純一 2011 4p (純ちゃんのコーナー Part X)

- ◎「シェルドン登場」 田中毅 2011 4p (シェルドンの森 ロータリーの真実を求めて)
- ◎「ロータリーの危機」 田中毅 2011 13p (D. 2790 地区大会記念誌)
- ◎「ロータリー活動と意識についてーロータリー歴の長い会員と短い会員」 丹羽司一 2011 13p (ロータリーに関する意識と活動についてーロータリーに未来を考える)
- ◎「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル 2011 10 p (D. 2790地区大会記念誌)
- ◎「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」 武笠和夫 2011 2p (社会教育No.783)
- [上記申込先:ロータリー文庫]
- ◎「職業奉仕の源 社是・社訓他」 宝塚中RC 2011 17 p [申込先:宝塚中RC FAX(0797)83-1110]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15  
黒龍芝公園ビル 3F  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館=午前10時~午後5時  
休館=土・日・祝祭日

ロータリー財団

冠名RPF基金 991,451 \$



田中作次  
(八潮)  
平成23年12月22日

M-P-H-F (5)



今井憲晃  
(浦和北)  
平成23年10月27日

M-P-H-F (2)



宇田川初夫  
(三郷)  
平成23年11月25日

M-P-H-F (1)



穂積邦之  
(浦和北)  
平成23年11月24日

M-P-H-F (1)



矢野豪士  
(浦和北)  
平成23年11月24日

P-H-F



池田由季子  
(浦和北)  
平成23年10月27日

P-H-F



橋本怜三  
(浦和北)  
平成23年10月27日

P-H-F



早坂恵美子  
(浦和北)  
平成23年10月27日

恒久基金 1,000 \$  
ベネファクター



阿部朋博  
(越谷東)  
平成23年12月12日

クラブ寄付 3,208.19 \$



大宮中央RC  
平成24年1月26日

米山奨学会

米山功労者メジャーダー(11)



佐伯鋼兵  
(浦和南)  
平成23年11月22日

米山功労者マルチプル(5)



渡邊和良  
(浦和北)  
平成23年8月25日

米山功労者マルチプル(5)



高野宏治  
(浦和南)  
平成24年1月20日

米山功労者マルチプル(3)



馬籠光廣  
(川口)  
平成24年1月26日

米山功労者マルチプル(2)



福田剛紀  
(浦和北)  
平成23年11月24日

米山功労者(1)



辻隆幸  
(浦和南)  
平成23年11月22日

準米山功労者



小滝敏郎  
(浦和南)  
平成23年11月22日

新会員



斉藤啓崇  
(蓮田)  
平成23年12月7日入会  
積水ハウス(株)  
プレハブ建築



木村淳一  
(越谷)  
平成24年1月10日入会  
アーバンハウス(株)  
不動産業



三牧信吾  
(幸手)  
平成24年1月11日入会  
三陽不動産(株)  
不動産業



小野田則昭  
(大宮西)  
平成24年1月16日入会  
日産プリンス埼玉(株)  
自動車販売業



矢尾喜三郎  
(大宮西)  
平成24年1月16日入会  
矢尾歯科医院  
歯科医院業



都築久美  
(さいたま櫛)  
平成24年1月17日入会  
HEART CURE(ハートクア)  
パンケット業



吉田奉行  
(大宮西)  
平成24年1月23日入会  
財団法人青葉園  
専務理事業

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



岡田季之 会員  
(川口北東)  
平成24年1月26日  
享年47歳



清水 猛 会員  
(大宮)  
平成24年1月28日  
享年67歳

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在		当月末会員数		増減	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位
		内女性	現在	内女性	現在				出席率	順位	
第一グループ	浦 和	101	0	99	0	-2	5	1	87.12	23	30
	浦 和 東	78	2	80	2	2	3	4	89.53	12	9
	浦 和 南	29	0	27	0	-2	3	0	85.33	30	2
	浦 和 中	36	2	36	2	0	5	0	84.44	35	12
	浦和ダイヤモンド	20	9	18	8	-2	2	0	90.74	10	5
	第1グループ計	264	13	260	12	-4	18	5	87.43		
第二グループ	浦 和 北	70	3	73	3	3	10	5	91.36	6	8
	さいたま中央	45	1	45	1	0	3	0	82.96	45	43
	浦 和 西	20	3	19	3	-1	4	0	72.60	75	69
	浦 和 北 東	42	1	42	1	0	6	1	86.88	25	56
	さいたま新都心	40	0	41	0	1	4	3	89.42	14	7
	第2グループ計	217	8	220	8	3	27	9	84.64		
第三グループ	大 宮	52	0	52	0	0	10	5	82.79	47	49
	大 宮 南	35	5	35	5	0	5	4	80.00	55	64
	大 宮 中央	48	0	43	0	-5	5	0	80.45	54	66
	大 宮 南 東	7	2	10	2	3	3	4	78.00	64	67
	大 宮 シティ	62	5	63	5	1	8	2	79.30	60	57
	さいたま櫛	21	0	22	0	1	3	2	81.68	49	58
	第3グループ計	225	12	225	12	0	34	17	80.37		
	第四グループ	大 宮 西	66	0	73	0	7	20	8	83.06	44
岩 槻	29	4	29	4	0	2	1	55.17	79	80	
大 宮 北	22	1	22	1	0	3	0	88.23	20	20	
大 宮 南 西	9	1	7	1	-2	2	0	85.70	29	76	
大 宮 東	36	0	37	0	1	5	3	86.67	26	51	
岩 槻 東	29	1	29	1	0	3	0	84.27	36	48	
大 宮 北 東	16	2	15	2	-1	3	0	83.33	40	32	
岩 槻 中央	14	0	15	0	1	1	1	83.33	40	46	
第4グループ計	221	9	227	9	6	39	13	81.22			
第五グループ	上 尾	39	1	39	1	0	3	0	82.91	46	27
	鴻 巣	27	0	25	0	-2	3	0	96.80	1	1
	桶 川	22	0	22	0	0	2	0	85.28	31	75
	上 尾 西	41	0	39	0	-2	5	0	90.75	9	21
	北 本	8	0	9	0	1	2	1	87.00	24	34
	上 尾 東	19	0	19	0	0	2	0	76.31	70	45
	上 尾 北	27	0	27	0	0	3	0	89.42	14	3
	鴻 巣 水 曜	31	3	31	3	0	3	1	85.06	32	53
	桶川イブニング	16	0	16	0	0	2	0	79.69	57	74
	第5グループ計	230	4	227	4	-3	25	2	85.91		
	第六グループ	春 日 部	41	0	44	0	3	5	3	84.48	34
杉 戸		26	1	28	1	2	2	2	83.33	40	50
春 日 部 西		35	2	34	2	-1	3	2	79.38	59	65
庄 和		19	0	21	1	2	1	2	92.06	5	18
春 日 部 南		28	4	31	4	3	5	3	74.04	74	70
春日部イブニング		22	1	22	1	0	3	0	88.33	19	29
杉 戸 中央		24	0	24	0	0	2	1	77.78	66	62
第6グループ計		195	8	204	9	9	21	13	82.77		

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在		当月末会員数		増減	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位	
		内女性	現在	内女性	現在				出席率	順位		
第七グループ	幸 手	41	2	43	2	2	5	3	93.02	4	14	
	蓮 田	33	0	37	0	4	6	4	83.78	38	41	
	久 喜 菖 蒲	57	4	58	4	1	6	3	81.15	51	52	
	栗 橋	12	0	12	0	0	2	0	71.87	76	55	
	幸 手 中央	24	1	25	1	1	3	1	76.00	71	60	
	第7グループ計	167	7	175	7	8	22	11	81.16			
第八グループ	越 谷	80	2	81	2	1	5	3	88.58	18	40	
	越 谷 南	51	3	52	3	1	5	5	71.51	77	71	
	越 谷 北	51	0	52	0	1	5	1	80.60	53	47	
	越 谷 東	47	6	48	7	1	2	1	90.84	8	24	
	越 谷 中	12	0	16	0	4	2	4	87.33	22	26	
	第8グループ計	241	11	249	12	8	19	14	83.77			
第九グループ	草 加	18	2	16	2	-2	5	0	79.17	61	78	
	八 潮	47	4	48	4	1	12	1	88.79	17	13	
	草 加 南	12	1	11	1	-1	2	0	78.78	62	35	
	八潮イブニング	24	0	24	0	0	4	0	84.72	33	22	
	草加イブニング	11	0	13	0	2	2	3	86.54	28	23	
	八 潮 中央	15	0	15	0	0	3	0	82.22	48	16	
	草 加 中央	23	0	23	0	0	2	0	79.70	56	42	
	八 潮 シティ	9	0	7	0	-2	2	0	77.77	67	68	
	草 加 21	8	3	0	0	-8	3	1	0.00		72	
	第9グループ計	167	10	157	7	-10	35	5	73.08			
第十グループ	吉 川	31	1	33	1	2	5	2	89.80	11	31	
	三 郷	30	2	29	2	-1	3	1	89.47	13	33	
	三 郷 中央	17	0	18	0	1	3	1	96.29	2	4	
	三郷ウェンズデー	20	2	20	2	0	4	2	75.44	72	39	
	松 伏	11	3	12	3	1	4	1	83.33	40	17	
	第10グループ計	109	8	112	8	3	19	7	86.87			
第十一グループ	川 口	82	11	86	12	4	5	6	79.46	58	63	
	鳩 ケ 谷	25	0	26	0	1	0	1	77.27	68	37	
	川 口 東	19	1	19	1	0	5	0	93.75	3	11	
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	27	2	1	2	1	89.17	16	59	
	川口モーニング	26	1	23	1	-3	5	0	83.70	39	19	
	川 口 南	31	4	30	4	-1	2	1	76.83	69	79	
	鳩ヶ谷シティ	14	0	15	0	1	3	1	86.67	26	15	
	第11グループ計	223	19	226	20	3	22	10	83.84			
	第十二グループ	戸 田	52	5	52	5	0	3	1	75.38	73	61
		蕨	26	1	26	1	0	3	0	81.00	52	44
		川 口 西	27	3	28	3	1	3	1	77.85	65	73
戸 田 西		29	1	28	1	-1	2	0	91.35	7	25	
川 口 北		33	2	33	2	0	20	0	78.09	63	28	
川 口 北 東		28	4	27	4	-1	5	1	81.17	50	36	
川 口 中央		13	1	13	1	0	2	0	87.78	21	6	
川口むさし野		19	1	17	1	-2	3	0	64.70	78	77	
戸田イブニング		18	0	19	0	1	3	1	84.20	37	54	
第12グループ計		245	18	243	18	-2	44	4	80.17			
地区合計	2504	127	2525	126	21	325	110	82.13				

# ロータリー・カードで東日本復興を!

2012年12月31日まで日本のロータリー・カードのロイヤリティ0.3%は、東日本震災復興のために使用されます。  
ロータリー・カードで日本の復興を支援しましょう。

2012年-13年度国際ロータリー会長  
田中作次

ロータリアンの  
皆さん  
みんなで  
行動しましょう

一人ひとりのロータリー・カード利用が  
東日本震災の復興を助けます!  
カード利用額の0.3%が東日本震災の復興支援となります

お問い合わせは、各ゾーンのロータリー・カード・コーディネーターへ  
第1ゾーン | 佐原 元 | ky.gen@akina.ne.jp  
第2ゾーン | 関 博子 | hirokoseki@attglobal.net  
第3ゾーン | 小林 完治 | k-kobayashi@tenseikai-aoe.or.jp

## ロータリー・カードはロータリアンの身分証明書

ロータリー・カードはロータリアンのステータスであり、身分証明書です。カードのご利用により会員様の負担なしで、ロータリー財団、東日本震災復興に貢献できます。誇りをもって、ロータリー・カードを示して、ご利用ください。  
ロータリー・ゴールド・カードは年会費が必要ですが、より大きく貢献でき、大きな特典が得られます。

9万人のロータリアンが、1万円の現金払いをカードでの決済にすると、  
270万円を東日本復興基金へ寄付ができます。

1万円 × 0.3% × 90,000人 = 270万円

同時に、本人は得られるポイント(0.5%分)を年次基金などに利用でき、更に各種の保障や特典が有ります。

ロータリー・カードの特典の詳細や、入会申し込みはこちらをご参照ください

<http://orico.jp/rotary>



### 使われないカードは、失効します

現在、ロータリー・カードの80%は使用されないで筆筒で眠っています。2011年10月より、有効期限から遡り、3年間利用のないロータリー・スタンダード・カードは、更新カードの発行がされないことになりました。直ぐに利用して失効を避けましょう。

